

シンポジウム

2024年施行
2027年見直し

女性支援新法の今 ～民間の力が活かされているか～

2026年10月8日(木) 13:30～15:30

会場：矯風会館1階ホール (開場13:00)

東京都新宿区百人町2-23-5

参加費：事前申込 1,100円 (お支払い当日)
当日 1,200円

裏面をご覧くださいの上、ぜひお申し込みください。

趣旨説明

「女性支援の広がりに向けて」

ファシリテーター：和田芳子 矯風会理事

パネリスト

「新法と女性自立支援施設」

救世軍新生寮 熊田栄一 施設長

「若年女性支援の現場から

～女性支援新法施行から3年目の今～」

レスキュー・ハブ 坂本^{あらた}新 代表

「緊急一時保護施設の窓から見たこの3年」

女性の家HELP 支援員

主催・お問い合わせ先：公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

電話 03-3361-0934 FAX 03-3361-1160

メール kyofukai@titan.ocn.ne.jp ホームページ <https://kyofukai.jp/>

パネリスト団体

NPO法人 レスキュー・ハブ

レスキュー・ハブは、新宿歌舞伎町を拠点に、女性が抱える困り事の解決に向けた支援を提供し、困難な状況にある当事者が、希望をもって新たなスタートラインに立てるところまで伴走する団体です。
繁華街におけるアウトリーチ活動、いわゆる夜職に従事する女性のための立ち寄り所の開設、シェルターの運営、直接支援の提供の4つを事業の中心に活動を行っています。

社会福祉法人 救世軍社会事業団 救世軍新生寮

救世軍新生寮は、「一人ひとりが当施設で大切にされた経験を次の場所での生き抜く力にしていける」を理念として、女性への支援を続けています。
熊田栄一施設長は婦人保護施設等連絡協議会（現・女性自立支援施設等連絡協議会）の主要メンバーとして、女性支援新法の創設に尽力されました。

矯風会女性の家HELP

矯風会の創立100周年記念事業として、1986年に、性産業で働くことを強制された外国籍女性の受け入れを中心に、女性とその子どものための緊急避難センターとして設立されました。
以来、国籍・在留資格・年齢等を問わず、シェルターを必要とする女性と子どもたちに宿所を提供しています。
1990年より、東京都来日外国人女性緊急保護事業補助金を交付され、母語での支援を重視した外国籍女性や子どもたちの支援のノウハウを持っています。

事前申込方法

QRコード、または矯風会ホームページよりお申し込みください。
メールの場合には、他のイベントとの混同を避けるため、
件名に「10/8シンポジウム申込」とご記載ください。
本文には、お名前、ふりがな、電話番号、イベントを知ったきっかけ、
一般/会員の別をお書きください。
参加費1,100円は、当日会場にてお支払いいただきます。



事前申込用QRコード

アクセス

JR大久保駅北口より徒歩2分
北口改札正面の横断歩道を渡り、
ドラッグストアと富士そばの間の道を入ってすぐの白い建物（4階建て）



※会場の都合上、ぬれた傘は入口にてお預かり致します。ご了承ください。